



世界でもっとも絶滅の危機に瀕しているリクガメ



ヘサキリクガメの繁殖に成功！

野毛山動物園で、絶滅危惧種に指定されているヘサキリクガメの繁殖に成功しました。

ヘサキリクガメは、国内では野毛山動物園だけで飼育されており、飼育下繁殖は世界的にも例が少なく、飼育方法等に不明な点が多い動物です。野毛山動物園では、6 頭目の繁殖となり、令和 2 年 2 月 3 日に生まれた 1 頭に次いで今年 2 頭目の繁殖となります。

今回繁殖した個体は、令和元年 10 月 31 日に産卵されたもので、令和 2 年 4 月 12 日(日)に^{ふか}孵化し、爬虫類館の展示用水槽で飼育を開始しております。

今後も動物園の役割である「種の保存」に取り組んでまいります。



^{ふか}孵化した個体 (4 月 20 日撮影)

※現時点で野毛山動物園は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 5 月 31 日(日)まで臨時休園しています。



指定管理者：(公財) 横浜市緑の協会

お問合せ先

野毛山動物園 園長 田村 理恵 Tel 045-231-1307

【参考資料】

1 今回孵化した個体について

孵化日：令和 2 年 4 月 12 日（日）

頭数：1 頭 ※性別不明

孵化日数：164 日

産卵日：令和 元年 10 月 31 日（木）。その後、孵卵器に入卵

両親：両親とも種の保存法違反で摘発された違法飼育個体

平成 23 年 4 月 30 日から野毛山動物園で飼育

2 ヘサキリクガメについて

和名：ヘサキリクガメ

学名：*Astrochelys yniphora*

分類：カメ目 リクガメ科

分布：マダガスカル島北西部のバリー湾周辺

形態：最大甲長約 45cm、のどの下の甲羅の喉甲板が船のヘサキのように伸びており、名前の由来ともなっている。

ワシントン条約（CITES）：

附属書 I（絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの）

国際自然保護連合（IUCN）レッドリスト：

CR（深刻な危機にあり、野生で極度に高い絶滅のリスクに直面している種）

生態：野生では約 100～400 頭が生息するのみで、世界で最も絶滅が危惧されているリクガメの一つ。食性は植物食で草や多肉植物等

その他：1970 年代に森林伐採などで生息数が激減し、現地の保護施設で 10 年以上かけて 170 頭ほどの繁殖に成功したものの、1996 年にはその約半数が盗まれ、各国に密輸された。

国内飼育園館について：野毛山動物園のみ 10 頭（オス 3 頭 メス 1 頭 不明 6 頭）

（今回繁殖した個体含む）（2020 年 4 月 17 日現在）

3 野毛山動物園について

入園料：無料

開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）

休園日：毎週月曜日（祝・休日の場合は翌日）

※現在臨時休園中（今後の開園状況については、ご来園前に公式ホームページでご確認ください。）

交通：JR 根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅下車徒歩 15 分、または市営バス 89 系統「一本松小学校」行き「野毛山動物園前」下車すぐ 京浜急行「日ノ出町」駅下車徒歩 10 分

URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/nogeyama/>

住所：横浜市西区老松町 63-10

問合せ先：045-231-1307